白糠中の周辺　通学路きれいに

生徒が清掃活動

【白糠】町立白糠中学校（佐藤毅校長、生徒82人）の校外清掃が15日、同校周辺の通学路などで行われた。1～3年生80人が、交流を狙いに昨年から参加している白糠高校生徒会の8人と一緒にごみを拾った。

中学生が持つごみ袋にごみを入れる高校生

出発式では、保体常任委員の高橋花帆さん（3年）が「いつもお世話になっている地域に感謝して清掃しましょう」とあいさつ。生徒は火ばさみを手に30分ほど歩きながらペットボトルなどのごみを拾い集めた。

上野寛生保体常任委員長（3年）は「思ったよりごみが少なかったが、きれいにできて良かった」。手塚塁白糠高校生徒会長（2年）は「中学生と関われる良い機会になった」と話していた。（水谷友路）